

ふくさき

議会だより

第118号

平成23年
5月19日

兵庫県福崎町議会



右みて、左みて

自転車交通安全教室（田原小学校・4月14日）

3月定例会

平成23年度一般会計予算
75億6300万円

2

臨時会（1月27日）

8

常任委員会報告 総務文教・民生・産業建設

12

ここが聞きたい！一般質問（8人が町政を問う）

15

議会インタビュー 東日本大震災 災害支援の町職員が見た被災地

19

新しい議会構成決まる

20

わたしもひとこと「行政・議会のあるべき姿」

22

に建設 4億5千万円

一般会計予算を可決

3月定例会は、3月7日に開会し、22日間の会期で3月28日に閉会しました。

平成23年度一般会計予算、債権管理条例の制定など、報告1件、議案30件が提案され、一般会計、特別会計の4予算案は、予算審査特別委員会で審議しました。採決ではすべての議案を原案のとおり可決しました。また、請願2件は採択し、意見書を関係機関へ送りました。

一般質問は8人の議員が、行政上の問題点をたずねました。

議案ごとの質疑

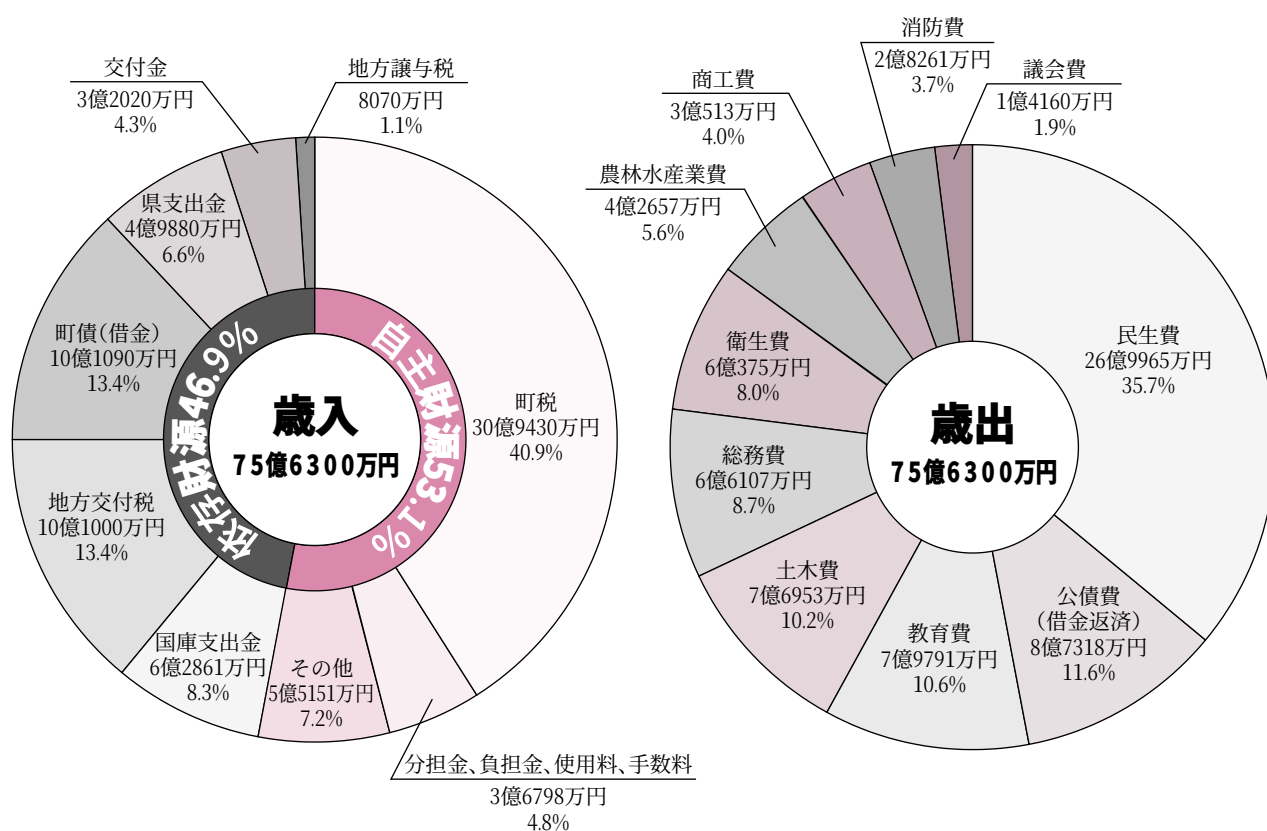
23年度一般会計予算

歳入全般

議員 自動車取得税交付金が20年度に比べて、本年度は2億50万円と半減している。自動車等の販売台数が減った影響か。

企画財政課長 エコカー減税制度の終了等の影響が大きく、販売台数もかなり落ち込むと予測されます。

■一般会計予算のなかみ■



田原幼稚園

第2グラウンド

23年度



福岡保育所跡地

賛 蔵入の使用料及び手数料が前年度比約700万円下がっている。理由は、**企画財政課長** 主なものは保育料で幼稚園の入園見込み数が減少し約200万円減、住宅使用料で約100万円減、エルデホール使用料で約100万円減などです。

賛 エルデホールの使用料が減る理由は、**社会教育課長** 住民がより利用しやすいように減免規定を改定し、減免利用の件数が大幅に増えてきています。利用率はそれほど減っていないのが現状です。

賛 財産売却収入で福岡保育所跡地や町営住宅跡地の財産売り払い処分はどうなっているか。**企画財政課長** 福岡保育所の跡地は22年度で測量設計の予算を置いていましたが、もう少し先で処分する方向でいます。西大貫住宅跡地は福岡町名義、八千種財産区名義があり、処分しても周りの土地の有効活用にはなりませんので、一体的な整備方向が検討できればと考えています。辻川住宅跡地は現時点では住宅用地等にできません。

平成23年度各会計の予算額と採決の状況

会 計 名		予 算 額	前 年 度 比		採 決 の 状 況
			増 減 額	率 (%)	
一 般 会 計		75億6,300万円	7億4,600万円	10.9	賛成13、反対1で可決
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	19億 350万円	8,860万円	4.9	全員賛成で可決
	老 人 保 健	—	△20万円	皆減	〃
	後期高齢者医療	2億 970万円	230万円	1.1	〃
	介 護 保 険	12億5,460万円	2,940万円	2.4	〃
	農 業 集 落 排 水	2億5,530万円	△200万円	△0.8	〃
	公 共 下 水 道	18億4,440万円	8,740万円	5.0	〃
水 道 事 業		6億5,098万円	△9,915万円	△13.2	〃
工 業 用 水 道 事 業		2,427万円	△8,932万円	△78.6	〃
合 計		137億 575万円	7億6,303万円	5.9	

地方債残高（借金）

平成23年度末見込

一 般 会 計 債	97億4,290万円
水 道 事 業 債	1億7,973万円
農業集落排水事業債	22億1,259万円
公共下水道事業債	95億3,696万円
合 計	216億7,218万円
町民1人あたりの借金	約110万円

基金残高（貯金）

平成23年度末見込

財 政 調 整 基 金	9億7,280万円
定 額 運 用 基 金	7億 760万円
特 定 目 的 基 金	3億8,332万円
特 別 会 計 基 金	3億5,057万円
合 計	24億1,429万円
町民1人あたりの貯金	約12万円

町制55周年記念事業

議員 23年度の大きな3つの事業で、田原幼児園建設、それと柳田國男先生の50年祭を含む町制55周年記念、そして食育の推進計画と3つあげられている。

産業課長 観覧は第1グラウンドの南側が一番のポイントだと思います。駐車場の南側附近のフェンスを外して、仮設の観覧席の設置を計画しています。

町制55周年記念でサルビア田園アート事業委託料があるが、田園の場所と面積、デザイン、サルビアの色は

総務課長 もちむぎのやかた北側の田です。面積は約8・4アール。白色、青色、赤色の3色で田園アートをしたいと思っています。

図柄は町章のマークと55周年の55という数字を描く予定です。赤いサルビアの中に、55の数字は白色、町章のマークは青色で行う予定です。

議員 アートなので上から見なければならぬ。いつごろ花を咲かせるのか。見る場所はどうするか。

のか。

産業課長 観覧は第1グラウンドの南側が一番のポイントだと思います。駐車場の南側附近のフェンスを外して、仮設の観覧席の設置を計画しています。

総務課長 時期は8月6日、7日の柳田國男先生の50年祭に一番満開になるようにしたいと思っています。

議員 委託料は

総務課長 中心的な役割はNPO法人のハートフルガーデン中播磨にお願いしています。



サルビア田園アートの予定地

いしたいと思っています。そのほか鍛冶屋宮農組合の花と緑の基地にもお手伝いをしていただき、事業を成功させたいと思っています。

議員 55周年をみんなで祝うため、町民みんなで植栽という手法も必要と思うが。

産業課長 8月に咲かせるために、7月に花と緑の基地から移植をする形になります。そのときには町民の皆様方にも声をかけて、一つのイベントとして、皆さん参加のもと、植栽する計画をしています。

女性委員会

議員 女性委員会は昨年一つの目玉として始められた。22年度の開催数

内容、成果等をどのように評価しているか。

総務課長 22年度は4回開催しました。女性委員会は町政に対する女性の率直な意見を求めるため

巡回バス見直し

議員 公共交通総合連携計画で23年度の予定、内容がフローチャートとして資料にある。23年度は早速実験運行に入ること

ことだが、本当にこのとおり進んでいくのか。22年度の委員会での意見課題解消はされたのか。

健康福祉課長 1回目は9月6日に行い、巡回バス等の現状、福岡町の交通を取り巻く現状について報告し、意見を聞きました。

に設置しました。女性委員に町が行っている行政の事業をいろいろ知ってもらうことが一番と思い、町の事業も紹介しました。町事業に参加したいという方が1人でも多くなれば良いと思います。

2回目は12月7日に開催し、9月に全世帯からアンケートをとった結果の現状と課題を報告しました。それに伴い、公共交通網の編成方針の概略案を示しました。

3回目は公共交通再編成方針案の検討をしました。デマンド交通もいろんなやり方があり、フルデマンド、バス停を設けて行うデマンド、またその実証、実験運行をする場合、現在の巡回バスと

の比較をどのようにしていくのか、有料か無料か等、結論まで出していないが、提案させていただきました。

23年度も引き続き会議を行って新たな方針を出していきたいと考えています。

議員 今の町民のバスの代替としてのデマンドバスであれば、65歳以上を中心に詳しいアンケートをとって、関係委員でワークショップなどを開いてきちんと検討し、住民によく周知の上、実験運行すべきだ。

健康福祉課長 デマンドの方法は近隣の市町でも行われています。全国で行われている事例はそれぞれ地域に合ったやり方になっています。どれが福岡町に合うか、まだ迷っている段階です。モデル地区的に導入して、成果を見てはどうかという考え方で実験運行計画をしているところです。

反対論

23年度一般会計予算案

高井國年 議員

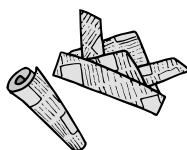
要旨

一、公共交通総合連携計画策定業務委託、並びにデマンド型交通実験運行委託料について、22年度にアンケートがなされているが①何のための公共交通の再編なのか、その目的が明確に示されていない

②本来の意味での交通弱者への日常生活の足となる交通再編であるべきであり、準備不足での実験運行は行うべきでない。

二、24年度からの3年間の養護老人ホームの調理業務委託料の予算（債務負担行為）が限度額5400万円となつ

ているが①限度額についても明確な積算根拠の説明がなされていない②現行の契約からしても、限度額は5000万円とすべきである



動議の提出

23年度一般会計予算可決後に宮内議員から付帯決議の動議が提出され、直ちに採決の結果、賛成少数で否決されました。

（提出者：宮内富夫 議員 提出賛成者：釜坂道弘 議員）

要旨

付帯決議（案）

東日本大震災では多くの人命が奪われ、インフラから原子力発電所、企業から個人住宅までも大きな被害を受け、各種補償や復興事業には今後、莫大な額が予想され、震

災復興の優先で地方への交付等に減額等の可能性が考えられる。

このような中、福岡町としての財政を少しでも守るため、23年度一般会計予算について町長は下記点について留意して対処すべきである。

一、不急の事業を見直し、できる限り財政状況を悪化させない手段をとること。

二、県をはじめとして関係自治体の動向を見定め、最大限効率的、効果的な成果が得られるよう努力すること。

東日本大震災

200万円を緊急補正

町の災害見舞金として、定例会の最後に一般会計補正（第5号）議案が上程され、災害見舞金200万円を県町村会を通じて拠出することになりました。

なお、町はさらに人的、物的支援を行うほか、議会としても県町村会及び岩手県遠野市へ支援することとしました。

議員 200万円とした根拠は、また、どのルートを通じてどこへ届ける予定なのか。

総務課長 周辺市町の場合も勘案し、200万円としました。兵庫県町村会または兵庫県のとちゅうかを通じて送りたいと思っています。

議員 見舞金というのは通常、予備費から出るのはないのか。

副町長 予備費充用ではなく、歳出目的を定めた支出としました。



遠野市へ救援物資を搬送

町債権管理条例の制定

町債権の適正な管理をはかるため、債権の管理方法などを定めるもの

議員 担保権には物的担保、人的担保があり、その人的担保の保証人に対して、本来ならば督促をするときに保証人へも履行請求するのが本意ではないかと思う。本条例の資料にある債権回収フローチャートではそうと

税務課長 債権回収で最初のアクションは督促です。その後に納付催告を行います。この段階で保証人へも納入依頼していくという流れです。

議員 この債権回収フローチャート図をもっと充実させて、手順が住民のだれにもわかるような図になるよう求める。

税務課長 今後引き続き研究します。

議員 議会との関係について、60万円以下の債権の訴訟手続等により履行を請求する場合、町長が専断処分できるか、あるいは議会の採決の対象となるのか、あるいは報告のみ

柳田國男・松岡家記念館の設置及び管理に関する条例の制定

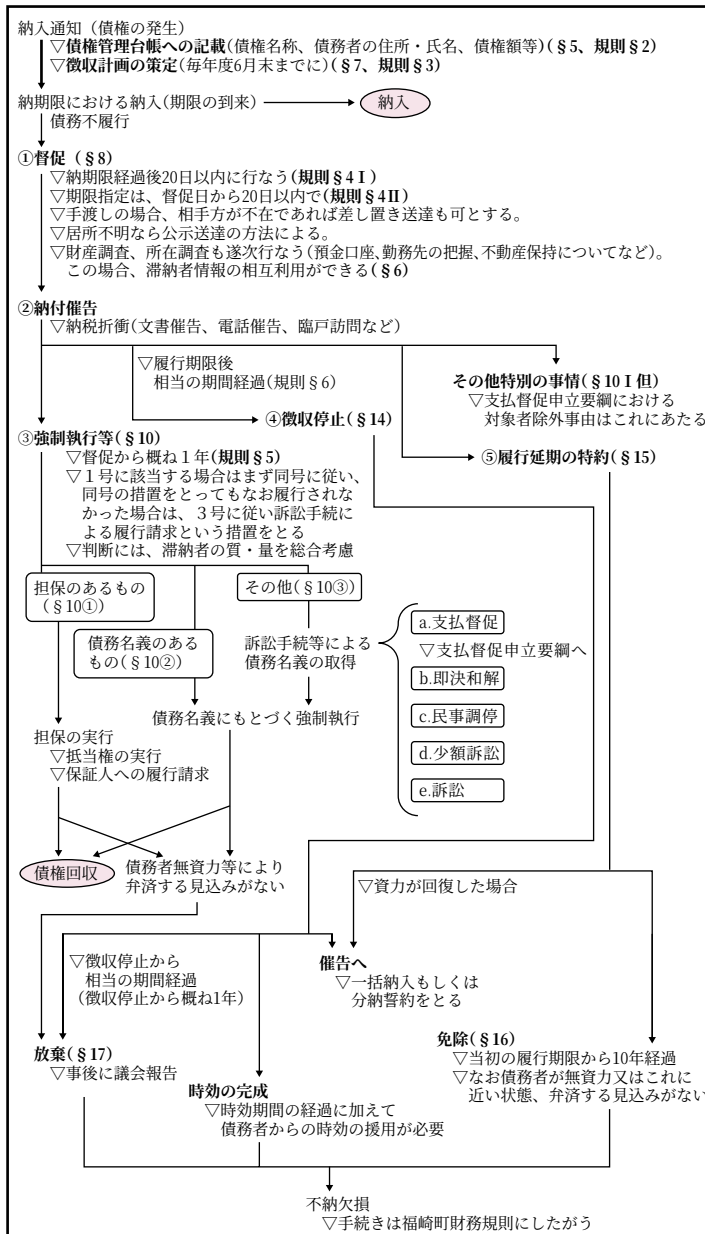
財団法人が解散し、町に寄贈された財産を町立として管理運営するための条例整備

議員 このたび財団法人からの寄附という形で町立柳田國男・松岡家記念館となるが、入場料について、特別展示の場合は1000円を上限とするとなっている根拠は、また、附則で当分の間無料にするとあるが、その考えは、

社会教育課長 特別展の上限を1000円としたのは、県内の博物館等を参考に決めています。当分の間無料としたのは、貴重な所蔵品を財団から町へ寄贈いただき、住民に披露したいことや、より身近で親しみのある施設になれるよう考えました。

議員 大庄屋三木家が改修できた場合、生家と歴史民俗資料館、そしてこの記念館とあわせての一体的な活用計画も考えるべきではないかと、三木家の改修に入るときにも指摘があったが、その活用計画に向けた取り組みは、

社会教育課長 辻川界限には文化財以外にも、もちむぎのやかたや辻川山公園などがあります。また22年度から県重要文化財の大庄屋三木家の改修も始まり、23年度からは柳田國男記念館も町が運営することになります。今後は、三木家の公開に向け辻川界限検討委員会や地元などと協議を重ね、文化財だけではなく観光の名所としても全国に知れ渡るような事業を展開していきます。



債権回収フローチャート

予算審査特別委員会

3月11日、14日、15日の3日間 開催



審議中の予算審査特別委員会

出された主な意見

一般会計

歳入について

●軽自動車税の特殊自動車について、車検制度が

委員長	石野 光市
副委員長	牛尾 雅一
委員	釜坂 道弘
志水 正幸	
広岡 史郎	
東森 修一	
北山 孝彦	

なく任意での申請となっている状態だが、各所有者へ個別に申請が必要な通知を出せるようにすべきである。

●未活用の町有財産の処分、公会計における財務4表の公表に対応するため、早く財産一覧表、処分財産一覧をまとめ、公表すべきである。

●県支出金について県の第2次行革プランが23年度から始まることによる影響は受けないとのことだが、それなりの影響はあるのでは。

歳出について

●女性委員会委員報償金について、単なる町政報告や意見交換会では報償の意味がない。せっかくの委員会であり、任期内容について再検討すべき。

●手話通訳の報償金が年間5万円のみである。町のイベントなどにもっと手話通訳を導入すべきであり、あわせて手話通訳

できる職員の養成も図るべきである。

●食育事業への取り組みについて、23年度町の重要施策とのことだが、予算を見る限りどのように取組むのがよく見えないう。例えば専門的担当者を庁舎内コーディネーターとして配置して取組むべきである。また、食の安全・安心をテーマに各課の連携を期待する。

●幼稚園の高所の清掃は年に1回で、各園にすれば4年に一回となっている。毎年一回にすべきでは。

●防災対策に関して、今回の東日本大震災を教訓に、想定以上の災害への対応にも検討をいただきたい。

●農業農村活性化基金について、積極的な積み増しを行い、営農、認定農業者を中心とした町内農業の活性化を図るべきである。

特別会計

国民健康保険事業

●財政調整基金について23年度予算で3200万円を取り崩すと、基金が底をつく。緊急（高額給付の連続的発生等）の場合、一般会計からの財政支出もありうるとの答弁だが、23年度の保険税の改定・値上げもやむをえないと思える事態である。

●高額療養費の外来での現物給付による適用認定書の発行について、医療機関での説明に任せるのではなく、充分なる周知を図るべきである。また、ホームページで入院時の適用認定書の発行とあわせて、いくつかのパターンでの例を載せればわかりやすいのでは。

●一日人間ドック、脳検査補助について、病気の早期発見が結果的に高額医療費抑制に繋がるので、もっと検診者が増えるようにPR、それに伴う予算措置をすべきである。

●保険税決定の仕組みを図式などによってもっとわかりやすく知らせた方が町民の理解が得られやすいのでは。

介護保険事業

●23年度より、特定高齢者予防が二次予防に、一般高齢者予防が一次予防と、充実した取り組みに向かつての項目の変更と考えるが、二次予防での筋トレなど委託関係の事業の効果が発揮される取り組み、一次予防では地域介護予防でのふくろうの会（23年3月現在で11地区）が町内全地区で実施されるようにしっかりと取り組みを求める。

●24年度からの第5期事業計画の策定のための調査を老人会を通じて実施とのことだが、基礎データとなるので正確な実施を求める。



22年度 一般会計 3月補正(第4号)

財政調整基金に3億円積立

平成22年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億9630万円を追加して、74億9060万円としました。補正の主なものは、法人町民税の増収や普通交付税の大幅な増額、また国の補正予算に計上された地域活性化交付金の住民生活に光をそそぐ交付金に対する第二次配分などで、全員賛成で原案のとおり可決しました。

おもな内容

一般会計	補正額
歳入	
法人町民税	1億3500万円
普通交付税	1億3768万円
住民生活に光をそそぐ交付金	1117万円
歳出	
財政調整基金積立金	3億420万円
ふるさと応援基金積立金	500万円
子ども手当を減額	△1073万円
消防団員活動服購入	770万円
生活科学センター改修	600万円
小・中学校図書購入	200万円
図書館図書購入	400万円

質疑

議員 今回の補正で法人

町民税が増額されたのと
地方交付税が非常に大き
く増額された。この増額
がわかったのはいつか。

企画財政課長 普通交付
税は7月上旬に算定が行
われます。その結果、予
算を上回ることが見込ま
れたので、12月の補正の
中で約2億円の繰上償還
を計上しました。

税務課長 法人町民税の
増額の見込みは夏ぐらい
でした。

議員 当初予算の厳しさ
で、金がない金がないと
いう世間のうわさに惑わ
されてきたような感じが
する。年度内に使い道を
考えてもよかったのでは
ないかと思う。財政調整
基金に3億円積み立てる
理由は、

副町長 町税の調定額と
地方交付税の普通交付税
は、所管の総務文教常任
委員会で報告をしていま

す。

地方財政における一般
財源が足りないときには
財政調整基金を取り崩し
て、行政水準を確保し、
余剰がある場合は財政調
整基金に積み立てて、一
定の行政水準を図ってい
くということが財政運営
の基本であると考えてい
ます。

議員 図書館入費の40
0万円は図書館からの要
望によるものか。予算づ
けの考えは、

社会教育課長 平成17年
に図書館がオープンして
以降、毎年1000万円
近い予算で、図書の充実
に努めています。今回、
国の新たな補助事業で図
書の購入ができることと
なりました。

受理した 請願

件名	請願者の氏名	紹介議員	本会議の結果
脳脊髄液減少症の診断及び治療の確立の早期実現を求める意見書の提出を求める請願書	古市 利明	富田 昭市	全員賛成で採択 国へ意見書提出
T P P の参加に反対する請願	兵庫県農民運動連合会 代表者 永井 修	宮内 富夫 難波 靖通 福永 繁一 石野 光市	賛成多数で採択 (賛成13：反対1) 国へ意見書提出

22年度 特別会計 3月補正

介護保険事業

議員 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金が全額不用額の理由は、健康福祉課長 これはスプリンクラーの整備に係る補助で、消防法の改正でグループホーム等にスプリンクラーの設置義務が生じています。

この交付金は、町内施設でスプリンクラーの一部設置を予定していましたが、一部設置には国の補助ができないとの回答で整備を見送ったものです。

23年度は補助対象になるとの通知があり、23年度の補正予算で整備する予定です。

水道事業

議員 未収金922万9319円の明細は、15年度までの分は債権処理でゼロになるのではないかと、16年度から22年度の年度末までの合計がこの未収金額か。

水道課長 今年度の不納欠損処理で平成15年度までがすべてゼロになっているわけではありません。分納誓約書をもらい、少しずつでも納めている方の不納欠損処理は行っておりません。

その平成15年度までの未収金が16万6195円です。

16年度から22年度までの分と合わせて922万9319円の未収金となります。

工業用水道事業

議員 予定貸借対照表の当年度純利益がマイナス234万6000円となっている。当初予算ではプラスの予定だったが、マイナスになった要因は、水道課長 当初は黒字の予算を組んでいました。

本年度は建設改良で送水管の移設工事を行いました。これは西治土地改良区のほ場整備と合わせた工事で、県の工事負担金もいただいています。

その地元負担分12・5%を工業用水道会計で負担するため、土地改良区へ支出しました。その結果、予定貸借対照表がマイナスになりました。

意見書

国へ提出

TPPの参加に反対する意見書

要旨

菅首相が参加を検討し、進めようとしている「TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）」が導入されると、農水省の試算ではわが国の食料自給率は40%から14%に急落、米の生産量は90%減、砂糖小麦はほぼ壊滅となつて

いる。食料をさらに外国に依存する政策と決別し、世界の深刻な食料需給に正面から向き合い、食料自給率を向上させる必要がある。よって、政府関係機関に次の事項について意見書を提出する。

①TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）に参加しないこと。

脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

要旨

脳脊髄液減少症は、交通事故等での身体への強い衝撃が原因で脳脊髄液が漏れ、減少することによって引き起こされる。めまい、耳鳴りや倦怠感等、多種多様な症状が現れるが、治療に有効なブ

ラッドパッチ療法は保険適用されていない。よって、政府関係機関に次の事項について意見書を提出する。

①23年度中に脳脊髄液減少症の診断基準を定めること。

②23年度中に診療指針を策定し、ブラッドパッチ療法を脳脊髄液減少症の治療法として確立すること。

③災害共済制度、労働者災害補償保険、自動車損害保険の対象に加えること。

国の地域活性化交付金を活用して

トイレを洋式化

保育所・幼稚園・小学校の低学年用

臨時
議会

1月27日

地域活性化交付金活用事業

保育所施設改修（トイレ洋式化、遊具修繕）
防犯灯設置
地図情報システム整備
保健センター施設改修
八千種自然活用村キャンプ場改修
観光案内板等整備
道路照明整備（工業団地交差点2基）
公園施設整備（イーストパーク遊具入替）
小学校施設改修（低学年用トイレ洋式化）
幼稚園施設改修（トイレ洋式化、遊具修繕）
神崎郡消費生活中核センター施設改修事業
小・中学校図書室改修、図書購入事業

1月27日に第435回臨時議会が開催され、22年度一般会計補正予算などを審議し、全員賛成で原案のとおり可決しました。補正の主なものは地域経済等の活性化を図るため交付される地域活性化交付金を活用した事業で3260万円、子宮頸がん等のワクチン接種事業で1440万円、社会資本整備推進のために交付される道路整備・ほ場整備事業で1480万円などです。

トイレ洋式化

高岡・八千種保育所
各小学校の低学年用

議員 トイレの総数から見ると、まだまだ一部の切りかえである。東・西中学校は洋式化の補正予算に計上されていないが、今後の整備方針は、学校教育課長 生活様式が変わってきており、教育施設も洋式化を図っていきます。まず低年齢の保育所、幼稚園、小学校の低学年で実施します。今後は年次計画で学年等を上げていき、小学校の高学年から中学校へ整備します。

地図情報システム整備

防犯灯・カーブミラー・消火栓等の情報をデータ化

議員 システムの導入による効果は、

住民生活課長 GISのシステムを利用して地図上に落とし込むことにより情報の二元管理ができ、住民対応の効率化が図られ、サービス向上につながります。

八千種自然活用村キャンプ場改修事業

コテージ5棟の窓修繕、シャワー設備及びトイレ設備の修繕

議員 ふれあい会館の施設も含めて一体化して活用していくことが大事。22年度の利用の見通しは、産業課長 夏場の猛暑で約70名減の400人程度に下がる見込みです。議員 自然活用村のキャンプ場の今後の方向づけについて基本的な方針を定めているのか。産業課長 文章での基本方針はありません。町長 今回補正するということは早急な廃止はなく、存続して活用していく方向であるという意図を示しています。

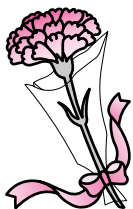
観光案内板等整備事業

役場前・文化センター前・福崎駅前観光案内板の更新

辻川界隈案内標識の整備

議員 今回の案内板の内容は寺院や名所旧跡が中心になっているが、それだけでいいのか。どういった内容にするか検討してから取り組むべきだ。

副町長 設置してから十数年が経過しています。観光協会等にも意見をい



公園施設整備

イーストパーク遊具入替（コンビネーション遊具設置）

議員 遊具の設置で期待される利用状況は、

まちづくり課長 現在の遊具は相当年数が経過して老朽化も進んでいます。安全で魅力ある施設にするため遊具を設置します。

議員 利用する人が増えるようなところにつくることが大専。もう少し考えて進めては、

副町長 遊具を設置しているので利用していただきたいと広報等をし、利用度を高めていきます。



イーストパークの遊具

議員 年間親子連れに何人来てもらうとか数字を出していかないと事業評価に結びつかない。目標値をきっちり決めて行うべき事業ではないか。

副町長 行政評価をはかるには事業に対する目標数値の必要性も知っています。しかし行政は数値だけで評価していくものでもありません。言われている観点はわかりますが、そればかりではないことも承知いただきたい。

神崎郡消費生活中核センター（生活科学センター）施設改修

トイレ・洗面設備改修

議員 トイレは男子も女子も入口が一つになって

いるが、改修に向けて出入口を男女別々にする検討はされたのか。

産業課長 検討はしましたが、トイレは細長くなっており、中で半分に分けると大変細長い通路になります。また男性用も細長い所で利用していたくことになり、とりあえず男子用と女子用に分けて改修する方向で計画

しました。

議員 入口にあるエアコンの位置を変更して、そこに男子トイレをつくればいいのではないか。エアコンの移転まで検討されてこうなったのか。

産業課長 エアコンの機械の移転には配管等全部を変える大規模な工事になることから、今回はトイレのみ改修することにしました。

子宮頸がん等ワクチン接種事業

子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を助成

議員 町の計画では子宮頸がん85%、ヒブワクチン30%と接種率が載っているが、数字の根拠は、

健康福祉課長 子宮頸がんは厚生労働省の算定による接種率を適用して85%としています。予防接種3つとも定期接種で定められたものではなく任



神崎郡消費生活中核センター（生活科学センター）

意接種であり、強制的ではなく、接種を希望される方に助成する制度です。ヒブワクチン、肺炎球菌は実際には70%から100%程度の実施率ですが、3月までの補正であり、補正の接種率では30%にしています。

議員 22年度あと2カ月

しかない。2カ月間にとれだけの対応、実施をするかPRが非常に重要になる。PRの準備はどこまで進んでいるのか。

健康福祉課長 2月の広報に掲載します。また、2月3日にチラシを全戸配布し周知します。

町制55周年記念事業

5月3日(火・祝) 記念式典を挙行



記念式典 (5月3日)

町制55周年記念事業

先人のためまぬ努力と輝かしい功績に感謝するとともに、町のさらなる発展を願い、町民の参画と協働のもと、町内外に

むかつて「活力にあふれ風格のある住みよいまち」を発信する記念事業が展開されます。

① 町制55周年記念式典・民俗芸能のつどい

5月3日(火・祝)
(エルデホール)

② サルビア田園アート

7月からもちむぎのやかた北側の田で町花サルビア による田園アート

③ NHK公開録音

「上方演芸会」
7月15日(金)

(文化センター)

④ 柳田國男50年祭

8月6日(土)
第32回山桃忌

講演とシンポジウム

(エルデホール)

8月7日(日)
フィールドワーク

(辻川界隈)

人情喜劇

「柳田國男とカップ」

(文化センター)



大庄屋三木家住宅の

現場見学会を開催

2月19日(土)、西田原の三木家住宅修理工事

現場において、むき出しになった柱の痕跡から、今までの改築の経過がわかったことや、今後の修復についての話し等について、修復前の映像を交えながら、町内外から約

90人の参加のもと現場見学会が開催されました。

委員長	東森 修一
副委員長	釜坂 道弘
委員	富田 昭市
委員	難波 靖通
委員	広岡 史郎
委員	松岡 秀人

公共交通網の再編へ

巡回バスの運行の抜本見直し

公共交通網の再編方針（案）			
現在	サルビア号	<利点> 時刻表の時間にバス停に行けば利用できる（予約がいらない）	<欠点> - 運行回数が少ない - 目的地に行くまでに時間がかかる - バス停から自宅または目的地までが遠い
	▽		
再編案	デマンド型公共交通の導入	<利点> - 現在のサルビア号に比べ運行回数を多く設定できる - あまり迂回をせず、目的地まで早く行ける - バス停から自宅または目的地までが近くなる	<欠点> 事前に電話予約が必要
	毎日運行で予約（例：約1時間前）をしたら利用できる乗合タクシー		
▽			
公共交通利用者数の増加を促進			
▽			
めざすべき公共交通網	中心市街地を常に巡回する定時定路線型公共交通の導入		
	福崎駅から役場付近及び西田原地区を毎日数便、常に巡回しているバス		
めざすべき公共交通網	デマンド型公共交通の継続		
	再編案で導入したデマンド型公共交通の継続		

巡回バスの抜本見直し

第2回福崎町公共交通会議について報告があり
ました。町民アンケート調査結果概要とこれによる町民の移動状況からみる公共交通網の再編方針（案）が示されました。

町民の移動状況からみる公共交通網の再編方針（案）が示されました。

水道

県水値下げ

県水道用水供給事業の水道料金改定について福崎町においては、1立方メートルあたり152円から132円に減額することから23年度から年間約820万円の負担軽減が見込まれるとのことでした。

県の福祉医療

11月26日の委員会では報告のあった兵庫県第2次新行革プランでの福祉医療費助成制度の見直しについての動向として、所得制限についての判定を世帯の最上位所得者の所得から世帯合算の判定への変更については23年度中は行わない方向であること。10月から小学4年生から6年生までの通院に係る自己負担額について県がその1／6の助成

を行うことが示されていると聞きました。

中播衛生センター改良工事

中播衛生センターの改良工事の進捗について説明を受け、現地視察を行いました。今回の改良工事により、①焼却施設を廃止②脱水施設を更新③現施設の日量130キロリットル（内し尿90キロリットル、浄化槽汚泥40キロリットル）から日量95キロリットルで大半が浄化槽汚泥を受入、処理するのに適したものに施設を改良とのことでした。

委員長	石野 光市
委員長	志水 正幸
委員	高井 國年
委員	福永 繁一

住宅耐震改修 町が独自に上乗せ

町最大30万円＋県最大80万円

福崎町住宅耐震改修促進事業

補助金額	補助対象費用の1/16又は15万円のうち低い額
補助金額の加算	※町内の施工業者を利用された場合、補助対象費用の1/16又は15万円のうち低い額が加算されます
対象者	①福崎町内に対象となる住宅を所有する町民 ②兵庫県の「わが家の耐震改修促進事業」住宅耐震改修工事費の補助を受けていること ③町税等の滞納がないこと
対象住宅	①昭和56年5月31日以前に着工した自己の居住用の戸建住宅 ②耐震診断等の結果、評価が一定基準未満のもの ③違反建築物でないもの
対象費用	・住宅の安全性を確保するための耐震改修工事に要する費用 ・耐震診断の評価が一定の基準以上で実施する部分改修型工事費用 ・居室耐震型（シェルター型）工事費用

住宅耐震改修促進事業

この制度は、安全・安心の住まい・まちづくりを推進するため、兵庫県が実施している「わが家の耐震改修促進事業」に町が独自に上乗せ補助を行うことによって、住宅耐震化をより一層推進するほか、町内業者が耐震改修工事を受注できるよう積極的に促進することにより、町内産業の活性化につなげようとするもので、23年4月から施行されています。

（兵庫県）わが家の耐震改修促進事業

	1. 住宅耐震改修計画策定費補助	2. 住宅耐震改修工事費補助
補助金額	補助対象費用の2/3又は20万円のうち低い額（戸建住宅の場合）	補助対象費用の1/4又は60万円のうち低い額（戸建住宅の場合）
補助金額の加算		補助対象費用の1/4又は20万円のうち低い額（期間限定）
対象者	県内に住宅を所有している個人・法人	県内に住宅を所有し、所得が1,200万円（給与収入14,421,053円）以下の県民（個人）
対象住宅	①昭和56年5月31日以前に着工した住宅 ②耐震診断等の結果、評価が一定基準未満のもの ③違反建築物でないもの	
対象費用	安全性を確保するための耐震改修計画の策定に要する費用	・住宅の安全性を確保するための耐震改修工事に要する費用 ・耐震診断の評価が一定の基準以上で実施する部分改修型工事費用 ・居室耐震型（シェルター型）工事費用

食育推進計画（案）に対する意見を募集

この計画は、福崎町においても家庭はもとより、保育所（園）、幼稚園、小中学校、地域、農業者など、関係する関係機関・団体等が連携し、食育を推進し、生涯にわたって健全な人間性を育む町づくりを目指しています。

意見募集は、2月1日（火）～2月28日（月）

委員長 北山 孝彦
副委員長 宮内 富夫
委員 小林 雅一
委員 吉識 定和



給食に使用されるたまねぎの畑（八千種営農）

までの1か月間行われまし。今後、寄せられた意見をもとに食育推進計画が策定されます。

一般質問

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。



難波靖通

教育長 専門支援員 A

問 学校評議員に年齢

学校教育課長 幅広い視

問 **学校運営委員会が学**

校方針・人事まで決定するコミュニティスクールがある。導入の考えは、

新学習指導要領に万全の対応を求める

研究課題
です。

めす。

う

は

中です。

低所得者



は免除していますが障がい者は考えていません。

問 ワクチン接種による事故の責任はどこか。

健康福祉課長 自治体町です。

学童保育の充実を

新年度から校長経験者を主任指導員として配置へ



石野 光 市

問 学童保育に軸となる指導員の配置をと求めてきたが、新年度から主任指導員をおくと聞いた。研修予定も含めて詳細について説明を求める。

学校教育課長 町内の小学校での勤務経験もある元教職者を内定しており、研修は年3回を計画しています。

問 田原幼児園の開設後の現田原保育所の跡地の活用についてはどうか。

学校教育課長 県民交流広場事業の拠点、学童保育園の開設を含めて検討しています。

問 町内美化・不法投棄の根絶にむけ、①ため池

付近での不法投棄についても幹線道路沿い等は速やかな対応を②以前指摘していた給食センター北西の町道沿いの市川堤防の雑木の伐倒後の始末は③まちづくり課・産業課・住民生活課の緊密な連携は。

まちづくり課長 提言に沿って、具体的対応をすすめていきます。

問 図書館が目の不自由な人のためにも朗読CDを収蔵され、音楽CDも相当整備されているが①

交響曲でモーツァルトの25・39・40・41番、ベートーヴェンの6・7番は早急に整備を②郷土ゆかりの音楽関係者のCDの収蔵、唱歌・童謡・合唱曲の充実等、特色をもたせ地域文化の支援を③DVDはサウンド・オブ・ミュージック等が収蔵されているが、シェイクスピア作品の映画等についても検討はどうか。

社会教育課長 困難な面もありますが検討します。



新体制となった学童保育指導員

学校教育の新学習指導要領の改訂について

生徒の学力向上のため、新指導要領を率先して実施



志 水 正 幸

問 今年から小学校の授業時間が増える。どれくらい増えるのか。

教育長 国語と算数、体育を中心に低学年で70時間、中学年で35時間です。

問 新しい授業として「ことの力」の授業がある。話す、読む、書くが言葉の基本である。実施の内容は。

教育長 田原小学校で、県の研究指定を受け、聞く、話すことの言語力を高め、読む力、文章表現能力を高めるために実施します。

問 小学5、6年生の外国語（英語）教育導入の

効果は。
教育長 本町は3年前から英語の授業を先行して実施し、県下でも高い評価を得ています。今後とも継続して実施していきます。

問 幼稚園と保育所を一本化する国の計画が先送りになった。本町の幼児園に影響はないか。

学校教育課長 国の動向を見極めますが、特に影響はありません。

問 学童保育を必要とする生徒が増えている。田原小や八千種小でも実施すべきでないか。

問 避難所の耐震化整備率が51・8%と低い。また、がけ崩れ、土石流警戒危険区域内や河川氾濫区域内に避難所がある。指定の見直しをすべきでないか。

町長 避難勧告の発令基準や避難所の見直しなど町民の生命や暮らしを守る観点から検討します。



田原小学校 登校風景

小・中校舎にひび割れ、塗装の傷みは

計画を立てて取り組みたい



牛尾 雅一

問 近年の学校での異常気象による暑さ対策は、学校教育課長 状況により対処しています。

問 例えば扇風機の設定についてはどうか。

学校教育課長 他市町の動向を見て考えたい。

問 近年、局地的大雨で各地で災害が発生している。今後の対策はどう講じるのか。

副町長 自助、共助の観点から自主防災組織の再構築、非常備消防のマンパワー等の育成を含め、土砂災害の減災を目指して県と協働し、砂防及び急傾斜地崩壊対策事業の促進に努めます。公共下

水道事業の雨水対策は計画に沿って事業を進めてまいります。

問 井ノ口の月見橋は幅員狭小で通行が困難だ。対策はないのか。

まちづくり課長 橋の幅は南側の都市計画道路大門福田線の計画も関連があります。全体的な道路ネットワークを考えた検討が必要のため、長期的な課題としています。

問 地球温暖化など環境意識の高まりや、健康志向の高まりから自転車が向の高まりから自転車



朝の通勤・通学で混み合う月見橋（井ノ口）

注目されているが、事故防止の為の取り組みや、自転車保険の加入は必要では

住民生活課長 数多くの対策を講じていますが、なお一層交通事故防止に努めていきます。

学校教育課長 保険の加入は任意ですが、あらゆる機会に啓蒙しています。

問 町内の小・中校舎でひび割れ、塗装の傷みが見受けられるが、学校教育課長 認識しており、考えていきたい。

学校教育課長 認識しており、考えていきたい。

健康づくり日本一を目指せ

町民全体の健康を目指して努力していきます



富田 昭市

問 慢性疾患の患者は年々増加しており、特に生活習慣病でその傾向が目立つ。健康づくりは疾病の早期発見である。そのため

に予防医学を進めることは言うまでもないが、特定健診の推進や支援体制は整っているのか。

健康福祉課長 年度の初めに各戸に受診の案内をしたり、健康診断の受診者に通知をして、健康への予防プログラムも個人に送付しています。

問 町民の皆さんが心身ともに健康で暮らすために保健師の役割も重要だと考える。成人保健担当の体制と今後の対策は、

健康福祉課長 成人保健の担当は一人ですが町全体で5名いて健康相談は保健師全員で担当しています。

問 町長のリーダーシップの下、健康づくり日本一を宣言し、お金をかけなくても、すべての町民が健康で安心して暮らせる社会の実現を望む。

町長 食育を通して、健康福祉課を中心にお年寄りだけでなく町民全体の健康を目指して努力をしていきます。

問 9年間を見通した継続性のある教育が諸問題を解決できると考えるが、教育長 福崎町の教育委員会としては研究中です。

小中一貫教育を問う

問 選挙の管理体制と不正行為防止の対策は、総務課長 町老人ホームは選管職員が立会い、民間の施設は当該施設長に委託しています。

特別養護老人ホーム等での不在者投票



町ぐるみ健診

更なる各種「計画」の策定を

総合計画で事業を進めています



広岡 史郎

問 当町は総合計画の中の六項目の取組みで各種計画が策定され事務事業がなされている。しかし、本町のまちづくりを進めるには更なる計画の策定も必要かと思う。まず、「参画と協働でつくる町づくり」で少子化対策にもなる、働く女性を支援する男女共同参画計画の整備が必要と思うが、

副町長 総合計画の中の一項目に男女共同参画社会の実現を掲げています。また、「自然にやさしい安全なまちづくり」で、23年度は一般廃棄物処理基本計画が策定予定となっている。廃棄物処理から

リサイクル、温暖化対策まで行政、住民、事業者こそって取り組む指針として環境基本計画の策定が必要では。

住民生活課長 23年度に一般廃棄物処理基本計画を作って、ここから環境問題に入っていけたらと思います。

問 「活力にあふれのびゆくまちづくり」は福崎の産業、農業の活性化を目指す項目だが、国は国

家的政策として食料自給率の50%へのアップ、食の安全への取り組み、農業・農村の6次産業化を進めるため「食料・農業・農村基本計画」を策定して水田経営所得安定対策や農地・水・環境保全事業、農家への戸別補償モデル対策などに取り組んでいる。当町も農業の将来を見据えて食料・農業・農村計画策定への検討を求める。

産業課長 本町の農業施策は国の計画の下に、また、福崎町農村環境計画と合わせて事業を進めています。



総合計画（後期基本計画）

自律（立）のまちづくりは進んでいるか

反省しています



吉 識 定 和

問 町の施策で自律（立）のまちづくりの代表的事業は「地域づくり推進事業」と「農地・水・環境事業」だ。地域づくり事業は、福崎町で始めて12年になる。23年度は130万円が予算計上されていたが、申請件数は「新規」「継続」それぞれ何件か。申請数の動向は、

企画財政課長 新規1件、継続3件、町長特認1件で、申請は減少傾向です。事業は11年間実施し、「自律（立）のまちづくり」を5年来、提唱し進めてもこの状況だ。今後この事業をどうされるのか。

町長 私の言葉が人を動かしていないと反省しています。私の言葉と事業が、額面どおり受け止められていれば、心を打ち申請数も多くなるはずで

す。これでは、私の思いも通っていない。職員に自治会を担当させて、地域の方々と一緒にまちづくりを進めてはとの思いもあります。

問 女性委員に報償金を出すのであれば、民生協力員や福祉委員にも出してはどうか。

副町長 最初は行政が牽引する役割があります。

問 女性委員会に出席さ



地域環境改善活動 西大貫で 1月23日

国保の今後Ⅱ増税にならぬように

町としての努力は続けていく



小林 博

問 国の進める国保の広域化計画には全国知事会も財政悪化を大規模化するとして中止と国費の拡充を求めている。県での方針と進捗状況は。

副町長 財政安定化支援方針案について12月議会の意見書に沿い意見を上げましたが、県は原案通りになりました。

問 新年度は基金を全額取り崩す予算だが運営見込みの慎重さと一般会計の繰り入れを含め増税にならぬ努力が必要だ。税の資産割の今後は。

副町長 法定外負担を含め取り組んでいます。大きな課題となると思います。

ます。国等には機会あるごとに求めています。

資産割は検討の課題です。

問 防災対策で①行政の会分野で基本項目にすること②福岡市の水害対策を考えると市川の整備促進は基本課題だ③消火栓の役割は大きい。一層の管理と充実を。

副町長 防災は基本です。技監 市川は下流からの計画ですが福岡市間の改修要望が続いています。

住民生活課長 町も消防団も充実と管理に務めて

います。

問 交通問題で①町外との連絡路線の確保を②巡回バスの今後については広く住民の意見を聞く機会を持つこと、必要とする住民が気兼ねなく利用できることを基本に。

健康福祉課長 慎重に進めます。

問 県道三木中央線の七種川句彩蔵間に歩道を。

まちづくり課長 西谷部分を優先して要望しています。



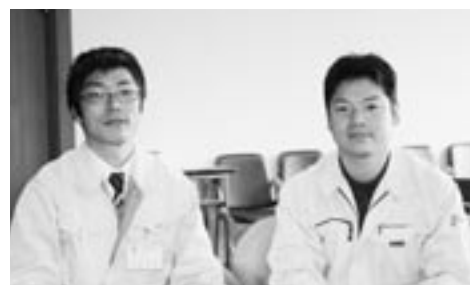
歩道設置が求められる句彩蔵付近

議会インタビュー



東日本大震災

災害支援の町職員が見た被災地



関西広域連合の第4次支援隊に福岡市から佐野（税務課）林（まちづくり課）の両名が被災地入り。支援内容や現地の状況などを聞いた。

派遣の日時や、交通手段
現地での生活は

支援場所は気仙沼市。4月8日の午前9時に約一週間分の自前の食料としてアルファ米やカップ麺などを積み込んで町の車を出発。北陸廻りで何とか翌朝に到着し、4月15日までの一週間支援活動を行い、17日に福岡へ帰着しました。現地宿泊は公民館で他市町の職員と雑魚寝状態。風呂は2回ほどでした。

支援活動の日や内容は
佐野：最初は社会福祉協議会でパソコンデータ入力などの事務支援、その後、支援物資の搬入や分別整理作業で、主に衣料品を担当しました。

林：到着後二日間は遺体安置所で遺族の方と遺体との対面の世話で、震災

からは一カ月の経過ですがまだ相当数の遺体がありました。その後市役所の支所で行政事務支援として健康保険証発行業務などに当たりました。支援を通じての感想は

帰途の前に市内を一巡しました。被災状況は報道の通りですが、津波到達の境がはっきりしているのが印象的でした。支援物資について、兵庫県からの物資は衣料品についても段ボールケースや中身がきちつと分別されていて、阪神大震災の経験が生きていると感謝されました。中古衣料品は避難所ではあまり希望がなく、在宅避難の方にも配布しました。

支援中は現地の方からお礼や感謝の言葉をよく聞き、行列も列を乱す人はほとんどなく、東北人の礼儀正しさ"に心を打たれました。

新しい議会構成決まる



副議長 北山孝彦 議長 松岡秀人 監査委員 志水正幸

4月28日に開かれた臨時議会で議長、副議長の選挙を行いました。また、監査委員のほか、各常任委員会と議会運営・広報編集委員会等の委員選任などが行われ、新しい議会構成が決まりました。これから2年間、本会議・委員会活動などを通じて、町民の皆さんの声を反映し、議会改革・活性化に取り組めます。

民生常任委員会



上段左から、小林 博委員、高井國年委員
松岡秀人委員
下段左から、難波靖通委員長、牛尾雅一副委員長

民生常任委員会は、町民の健康福祉の向上、環境衛生、上水道の整備、防災、生活及び公害問題などについて調査、審査を行います。
関係課は健康福祉課、住民生活課、水道課です。



総務文教常任委員会



上段左から、広岡史郎委員、志水正幸委員
富田昭市委員
下段左から、東森修一委員長、釜坂道弘副委員長

総務文教常任委員会は、町で進める事業の全体計画や財政運営、学校教育、社会教育、町税など多岐にわたる項目について調査、審査を行います。
関係課は議会事務局、総務課、企画財政課、税務課、出納室、学校教育課、社会教育課です。

議会広報編集委員会



上段左から、石野光市委員、北山孝彦委員
志水正幸委員、難波靖通委員
下段左から、広岡史郎委員長、牛尾雅一副委員長

議会広報編集委員会は、6人の委員で構成し、定例会ごとに「議会だより」の編集作業を行っています。

「議会だより」は昭和57年5月に創刊され、今回で118号となります。議会の内容をわかりやすく伝えるとともに、読みやすい誌面の編集を行います。

議会運営委員会



上段左から、東森修一委員、釜坂道弘委員
福永繁一委員、富田昭市委員
下段左から、小林 博委員長、宮内富夫副委員長

議会運営委員会は、6人の委員で構成し、議会の運営に関する事項、会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長との諮問に関する事項の調査などを行います。また議会の規律を正し、住民に信頼される議会を目指します。

議会選出の 一部事務組合議会議員

中播衛生施設事務組合

議員 牛 尾 雅 一
議員 吉 識 定 和

姫路福崎斎苑施設事務組合

議員 志 水 正 幸
議員 高 井 國 年
議員 福 永 繁 一

中播農業共済事務組合

議員 釜 坂 道 弘
議員 宮 内 富 夫

くれさか環境事務組合

議員 北 山 孝 彦
議員 小 林 博 市
議員 富 田 昭

産業建設常任委員会



上段左から、北山孝彦委員、宮内富夫委員
吉識定和委員
下段左から、石野光市委員長、福永繁一副委員長

産業建設常任委員会は、まちづくり、道路、農業、商工業の振興、環境対策、下水道の整備などについて調査、審査を行います。関係課は産業課、まちづくり課、下水道課です。



ふくさきフォトニュース

お知らせ

4月1日付で議会議事局の職員に異動があり、前産業課吉識主査が執務されることになりました。



写真右から
事務局長 清水悦子
事務局長 中塚保彦
事務局員 吉識功二



東日本大震災 救援物資・災害支援 役場出発（3月18日）



わたしむねいじり

行政・議会のあるべき姿

八千種地区50代男性

福崎町は児童生徒への医療費援助など、他の自治体より進んだ部分が多くあります。新しくできた道路にはほとんど歩道も併設されています。教育費なども他と比べても配慮されているように思います。しかしながら、いざ問題行動が起こっている学校に対してはどうか。一生懸命現場に行かれて、どうすべきかを考えられ、実際に行動を起こされている方もおられますが、そうでない人も多くみられます。いま、東日本大震災でも、現地の人たちは必死で今どうすべきかで行動されていますが、政府のやっていることを批判、批評するだけの人もみられるようです。

福崎町をよくしたいと思われれば、具体的な行動が大切です。「どうなんだ」「どうなっているんだ」ばかりではなく、「実態がこうあれば、そうしたらどうしよう」ということが行政、議会のあるべき姿ではないでしょうか。

東日本大震災の件で、他の国から「日本人は一流だが、政治家は三流だ」と言われている所以です。福崎町をよくしようという原点に戻れば、もつともつと具体的な行動がとれるはずです。

写真と「わたしむねいじり」の原稿を募集しています。

写真は町内の最近の風物（景色、行事等）を写したものの「わたしむねいじり」は町政、議会に対する意見や願いを（短文で可）。写真、原稿等はEメール、郵送で下記までお送りください。

なお、提出された写真、原稿等は返却しませんのでご容赦ください。次回の締切日は6月30日（木）です。

編集後記

大震災、それに伴う大津波、原発事故、発生から二カ月が過ぎた現在でも日本は苦しい試練の真ただ中です。阪神大震災と比較にならないような大災害ですが、阪神を身近に体験した私たちは当時の状況と重ね合わせながら、被災地の早期の復興を願うところです。議会は任期の折り返しで5月から新しい体制になりました。広報委員会も本会議や各委員会等での動きをできるだけわかりやすくお伝えするよう努力を重ねます。ご愛読ください。

◆議会広報委員会

委員長	広岡 史郎
副委員長	牛尾 雅一
委員	石野 光市
委員	北山 孝彦
委員	志水 正幸
委員	難波 靖通

ふくさき議会だより第118号
平成23年5月19日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報編集委員会
印刷／中井総合印刷株式会社

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL: (0790) 22-0560 FAX: (0790) 22-2342
ホームページ: gikai.town.fukusaki.hyogo.jp/

この広報誌は再生紙を使っています。